

留学体験レポート

青柳実希

留学中の思い出で一番心に残ったできごとの一つは、**Thanks Giving Day** です。**Thanks Giving Day** は11月の終わりに一週間くらいあるアメリカの祝日で、この期間中はほとんどの人が自宅でゆっくりしたり、伝統料理を食べたりして過ごします。期間中は学校も休日なので寮暮らしの私たちは**FIS Family**というホストファミリーの家でお世話になっていました。私たちの**FIS Family**は**Steve**と**Donella**という夫妻で、**Thanks Giving Day**の前にもメキシコ料理屋さんや**Corn Maze**というトウモロコシ畑でできた迷路などに連れて行ってくれた優しい人たちでした。

当日寮まで迎えに来てもらって、2人の家にお邪魔しました。**Corn Maze**の時にも1度お邪魔したのですが、とても広くて豪華なお家で、客用の部屋やお風呂もあったのには驚きました。**Donella**は家を飾り付けることが趣味で、以前は**Halloween**の飾りでしたが今回はクリスマスの飾りになっていました。お風呂場のタオルや食器など、細かいものまでこだわっていてとても可愛かったです。料理は**Steve**の担当で、私たちに手作りのミートストロガノフやパンなどを振る舞ってくれました。彼は本当に料理が上手で、アメリカで食べた料理の中でいちばん美味しかったです。私はシナモンが苦手なのですが、**Steve**の作ったシナモン入りのパンは絶品でした。



彼らは私たちのためにたくさん予定を立ててくれました。はじめにクッキー作りやクリスマスツリーの飾り付けをしました。クリスマスツリーのオーナメントは日本に比べて種類が豊富で、綺麗なものばかりでした。アメリカでは自分の子供の健康を願ってオリジナルのオーナメントを作るのが伝統だそうで、2人の孫や子供のオーナメントもありました。他にも、最近は暖炉のない家が多いので靴下のかわりにサンタの鍵を玄関にぶら下げるなど、初めて聞く話が多くて興味深かったです。

その次の日からは隣町へ買い物や食事に連れて行ってもらいました。**St. Joseph**で行ったお店では**Donella**の両親や親戚の人と一緒に

Thanks Giving Day の伝統料理であるかぼちゃのパイやインゲン豆、ターキーなどを御馳走になりました。このメニューは同じアメリカでも地域によって違って、内陸のミズーリ州では作物が中心なのだそうです。みんないい人ばかりで、その日以外にも彼らの家にお邪魔したり親戚の小さい子たちと遊んだりしました。



この期間の金曜日は **Black Friday** といい、**Crazy shopping** とも呼ばれています。なぜかという、この日はクリスマスに向けてどのお店もセールをするのでショッピングセンターにお客さんがたくさん来るからです。私たちもこの日は近くの **Wall mart** に行きましたが、いつもと違って 大勢の人で溢れ返っていました。日本の年末のバーゲンのようにみんなが欲しい商品を目指して走り回っていました。

この期間が終わった後も 2人は私たちを色々な場所に連れて行ってくれました。なぜ **FIS Family** になろうと思ったのかを聞くと、彼らがボランティア活動のためにタイに住んでいた時のことを教えてくれました。英語が母国語ではない人々と共に生活して、アメリカに帰国してからも英語が不自由な人たちの手助けをしたいと思ったからだそうです。2人のおかげでこの期間中にアメリカのさまざまな文化に触れ、話を聞かせて頂いて本当に良い思い出になりました。いつかまた 2人にお会いしたいです。

